2014年11月号

衣類のお手入れ通信

今年は例年より寒くなるのが少し早く、毛糸のセーターが恋しい季節。編み物が趣味といえば女性のイメージですが、江戸時代末期、傘貼りなどと並んで手編みは下級武士の内職だったそうです。綿糸で柄（つか）袋や印籠入れを編んでいたとか。そのテクニックは相当なもので、機械が普及した今ではない程細い編み針と糸で編まれていたそうですようです。

【そろそろストレッチ素材の疲労にご注意ください】

６～７年程前に登場したストレッチ素材の服は、身体の動きに無理なくフィットして、実際よりもスタイルを良く見せると評判を呼びました。現在は、一般的な衣料はもちろんのこと、スポーツウエアや下着など幅広い分野で利用されています。今や、なくてはならない人気製品といえるでしょう。

ところが、ストレッチ素材には開発当時には気付かれていなかったウィークポイントがありました。それは、着用と洗濯を繰り返しているうちに弾力性がなくなるという点です。買って数年でダラリと伸びきって、ひじやひざ、背中の部分がだぶついてしまうのです。

これは、ストレッチという性能ゆえの弱みといえるでしょう。ストレッチ素材の生地は、ほとんどの場合「ポリウレタン弾性糸」という合成ゴム糸が、縦方向に織り込まれています。

これは靴下の口ゴムに使われているものと全く同じもので、この糸のおかげで服が自在に伸び縮みします。しかし糸の弾力性が保たれるのは３～５年。寿命がきた弾性糸が伸びきって、布の表面が波打ってしまうというわけです。洗濯を繰り返した靴下の口ゴムが伸びてしまうのと同じですね。

ストレッチ素材の服の寿命は、湿ったまま摩擦したり、直射日光にさらしたりすることでとさらに短くなります。おしゃれ着に使われることが多いストレッチだけに、大切な服であればあるほど、濡らさないように雨の日にはなるべく着ない、濡らしてしまった時には日陰の室内に干すなど、コツをつかんで長持ちさせてください。といっても大切にしすぎて『タンスの肥やし』にはなさいませんように。服は着てこそ。おしゃれをお楽しみくださいね。

定休日：日曜日・祝日　　　営業時間：７時３０分～１９時

〒496-0901　愛知県愛西市佐屋町新田 1-6

℡・fax0567-26-9880　http://105-929.com

発行者：東郷俊博